

JIS規格によるガラス飛散防止試験

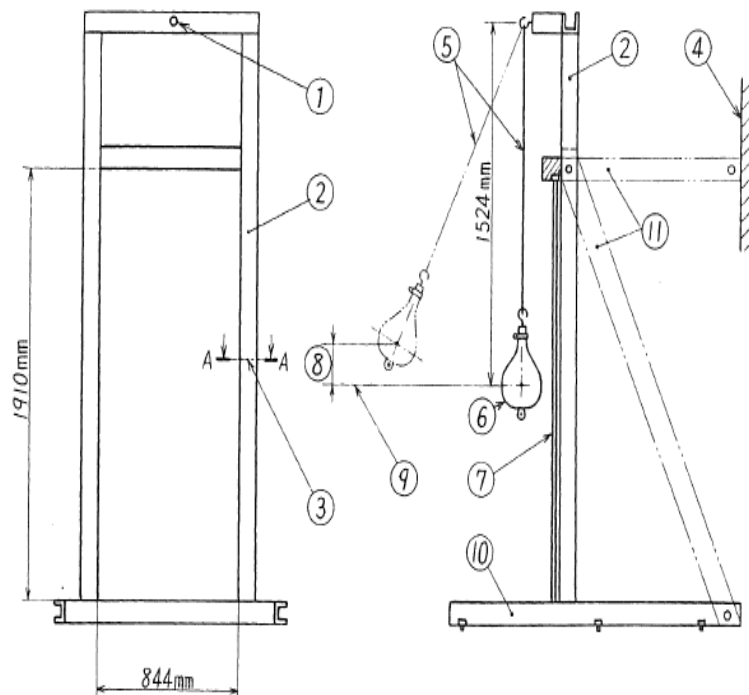
■ショットバッグ試験

人体衝突を模した試験で、45kgの重りを振り子式に自由落下させ、ガラスを破壊する試験である。JIS規格によれば、飛散したガラスの大きな破片を10個選び出し、その総質量が80g以下で、かつ最大破片の1個の質量が55g以下でなければならないと規定されている。

■層間変位試験

地震を想定した試験であり、飛散したガラスの総質量を測定し、飛散防止率を求める。JIS規格では、ガラス飛散防止率は95%以上と規定されている。

ショットバッグ試験



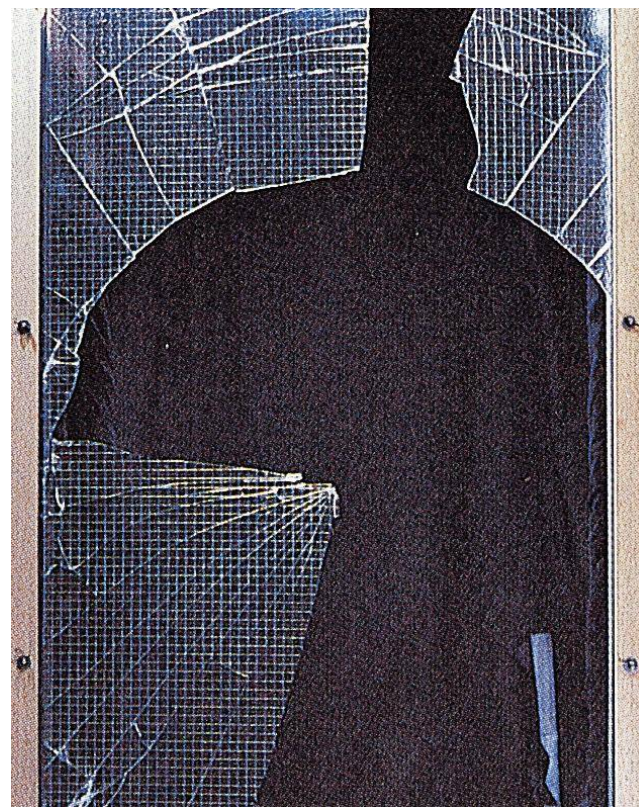
- ①衝撃体つり金具 ②試験台枠 ③A-A断面 ④コンクリート壁など ⑤衝撃体つりワイヤ ⑥衝撃体
⑦試験片 ⑧落下高さ ⑨試験片の水平中心線 ⑩床面固定試験台(ボルトで緊結) ⑪支え棒

ショットバッグ試験結果

フロートガラス



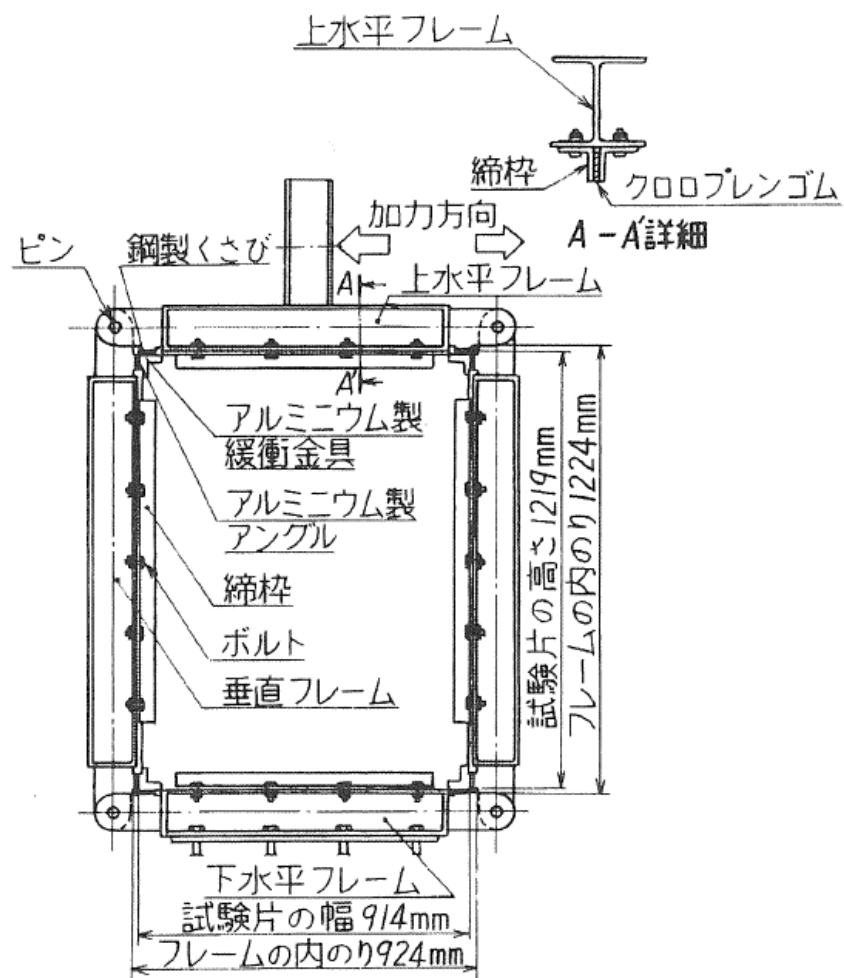
網入りガラス



フィルム貼付ガラス



層間変位試験



層間変位試験結果

フロートガラス

網入りガラス

フィルム貼付ガラス

